

令和元年度 第4回「消費者の部屋」特別展示

◆沖縄の農産物に関するパネル展◆

開催日：令和元年11月5日（火）～11月7日（木）（3日間）

来場者：139人

内 容：

亜熱帯地域の温暖な気候のもと、県内各地の地域特性を活かして生産される農産物について、生産の動向、産地化の取組、新しい生産技術等をパネルにより紹介するとともに、農産物を使った加工品や実際の農産物を展示し、沖縄の農業生産の状況について来場者に分かりやすく説明しました。

また、県産シークワーツージュースの試飲や県内8つの離島で生産された黒糖の試食を行っていただき、県産品の良さを知ってもらう機会となりました。

今年度から新たに取り組んでいる農業へのITやICTの活用を目指す「スマート農業加速化実証プロジェクト」について、全国での取組概要や県内での取組などを分かりやすいパネルで紹介したところ、来場者からは、「これからの農業では高齢化等で労力の問題があり、機械化による省力化が求められていることが分かった。」「今後は情報化に合わせていろいろ工夫してPRが必要なので良いことだと思う。」「担い手不足にはスマート農業の必要性が大きい。」といった感想が寄せられました。

そのほか、来場者からは「フィンガーライムが沖縄でも栽培可能であることを初めて知った。」「さとうきびの位置付けについて知識が深まった。」「沖縄の農業の独自性に興味を持った。」「タイ米でなく沖縄で原材料の米も生産することで、泡盛の価値が高まると感じた。」「実際の黒糖や米の展示があったことや、黒糖を使ったレシピがあるなど、実物があって分かりやすかった。」といった感想も寄せられました。パネル展をきっかけに沖縄の農産物に対する理解が一層深まり、沖縄産農産物の消費拡大につながることを期待しています。



会場の様子



会場の様子